

INDEX

公示	2
第 27 回通常総会及びシンポジウムのご案内（最終報）	2
第 1 号議案 2010 年度事業報告及び収支決算	3
第 2 号議案 2011 年度事業計画案および収支予算案	5
第 3 号議案 会長，理事，監事，評議員の選任	6
第 4 号議案 名誉会員推薦	7
夏の合宿研究会のご案内（第二報）	7

公示

下記の要領で第27回通常総会を開催いたします。

正会員には、委任状のハガキを同封しております。当日欠席の場合は、委任状にご記入の上、記名捺印して6月15日(水)までに到着するよう、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 2011年06月18日(土) 16:30~17:30
2. 会場
東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館 デジタル多目的ホール
東京都目黒区大岡山2-12-1 <http://www.titech.ac.jp/>
○東急大井町線 大岡山駅 徒歩1分 ○東急目黒線 大岡山駅 徒歩1分
3. 総会の議題
第1号議案 2010年度(2010.04.01-2011.03.31) 事業報告及び収支決算承認の件
第2号議案 2011年度(2011.04.01-2012.03.31) 事業計画及び収支予算案承認の件
第3号議案 会長, 理事, 監事, 評議員の選任の件
第4号議案 名誉会員推薦の件
※通常総会は、シンポジウムの終了後に同会場にて行います。
例年とは時間が異なりますので、ご注意ください。

2011年05月07日
日本教育工学会 会長 永野和男

日本教育工学会第27回通常総会及びシンポジウムのご案内(最終報)

日時: 2011年06月18日(土) 13:00~17:30 (受付12:30より 終了時刻は総会を含みます)
会場: 東京工業大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール
東京都目黒区大岡山2-12-1 <http://www.titech.ac.jp/>
○東急大井町線 大岡山駅 徒歩1分 ○東急目黒線 大岡山駅 徒歩1分
参加費: 500円(資料代)
申込方法: 当日受付にて直接お申込下さい。

【講演・シンポジウム: 13:00~16:30】

- テーマ 21世紀型スキルと教育工学
- ねらい

「21世紀型スキル」が世界的な注目を集め、その評価方法を検討する「ATC21S」もスタートしました。そこで、本シンポジウムでは、清水康敬氏(東京工業大学)から「21世紀型スキル」の背景や意義、枠組み等をご講演いただきます。また、PISAや情報教育との関わりについてもご解説いただきます。その後、ATC21Sの4つの観点に関連した研究をパネリストにご発表いただき、21世紀型スキルと教育工学研究の接点を探ります。それらを通じて、21世紀型スキルの育成を目指した教育改革の方向性と可能性、それに際して日本教育工学会が推進すべきこと、提言すべきことを議論いたします。

■司会・登壇者

司会: 木原俊行(大阪教育大学)

講演者: 清水康敬(東京工業大学)

シンポジウム登壇者:

思考の方法の観点から	椿本弥生(公立はこだて未来大学)
コラボレーションの観点から	望月俊男(専修大学)
学習ツールの観点から	稲垣 忠(東北学院大学)
多文化共生の観点から	村上正行(京都外語大学)

【通常総会: 16:30~17:30】

(詳細は、公示をご覧ください)

第1号議案 2010年度事業報告及び収支決算

2010年度に実施した事業は以下のとおりである。(事業費16,560,034円)

(1) 機関誌等 (13,087,966円)

1. 「日本教育工学会論文誌」第34巻1号～4号, 増刊号(ショートレター号), および英文誌第33巻1・2号(合併号)を編集・刊行し会員に配付した。(9,620,148円)
2. 「ニューズレター」No. 171～No. 177を刊行し, 会員に配付した。(1,075,133円)
3. 「日本教育工学会研究報告集」JSET10-2～JSET10-5, JSET11-1を刊行し, 申込者に配布した。(2,392,685円)

(2) 総会

日本教育工学会第26回通常総会を, 聖心女子大学で開催(2010/06/19)した。

(3) 大会

日本教育工学会第26回全国大会を, 金城学院大学で開催(2010/09/18-20)した。

また, 「大会講演論文集」を刊行し, 申込者に配布した。

(4) 研究会の開催 (337,610円)

次の研究会を開催した。なお, 発表内容は, 「日本教育工学会研究報告集」JSET10-2～JSET10-5, JSET11-1とした。

- ① 「情報モラル教育・ネットいじめ対策」研究会 (2010/05/15: 北海道教育大学旭川校)
- ② 「新時代の学習評価: 理論・システム・実践」研究会 (2010/07/03: 電気通信大学)
- ③ 「メディアの活用と教育・学習環境」研究会 (2010/10/23: 茨城大学)
- ④ 「ICTを活用したFDと大学・高大連携」研究会 (2010/12/18: 大分大学)
- ⑤ 「学校現場に対する支援」研究会 (2011/03/05: 静岡大学)

(5) 企画委員会 (309,337円)

企画委員会を開催し, 次のシンポジウムおよび研修講座(合宿研究会)を開催した。

a) シンポジウム(2010/06/19: 聖心女子大学) ※25周年記念事業として実施。

午前: 「研究方法論を探る(私の教育工学研究—この10年の潮流を踏まえて—)」

午後: 「日本の教育, これからの10年(学会の役割と連携を探る)」

b) 研修講座

- ① 第65回研修講座 夏の合宿研究会 (2010/08/07-08: 福山大学)
テーマ: 「教育の情報化, 次の10年を考える」
- ② 第66回研修講座 冬の合宿研究会 (2011/02/19-20: チサンホテル札幌)
テーマ: 「質的データを分析しよう! —質的研究におけるデータ分析入門—」

なお, 予定していた第67回研修講座 産学協同セミナー(2011/03/18: パナソニックセンター東京)テーマ: 「産学で議論 教育工学の視点からの未来の学校(教室)」は, 東日本大震災の影響で中止となった。

(6) 学会ホームページの更新(408,713円)

学会のホームページによって, 学会情報を提供した。

(7) セミナーの開催(177,660円)

以下のFDセミナーを企画し開催した。

テーマ: 「大学授業におけるアクティブラーニングを考える」

(2011/03/11: 関西大学東京センター)

(8) 国際連携の促進(230,468円)

中国・韓国等を中心として, 海外の学協会との連携を促進した。

(9) 学会の情報化対応システム開発(854,071円)

学会の論文管理システムなどの開発をおこない, 会員へのサービス向上を図った。

(10) 25周年記念事業の実施(1,094,329円)

学会の創立25周年を記念した事業として, 学会LOGOの作成・記念シンポジウムの開催, 功労者への表彰などを行った。

(11) 「教育工学選書」の出版(59,880円)

「教育工学選書」出版に向け, 教育工学選書編集委員会を開催し, 企画を進めた。

(12) 2010年度末(2011/03/31) 会員総数: 2,659名

内訳: 正会員 2,046名, 准会員 339名, 学生会員 253名, 名誉会員 2名, 維持会員 19機関

2010年度 収支決算 (自2010.04.01～至2011.03.31)

1. 収入の部

科 目	決算額	予算額	差 額	備考 (2010年)
1. 会費 (①～④の合計)	12,924,500	21,475,000	△8,550,500	※1
①正会員会費	10,632,500	18,000,000		9,000円×2000名
②准会員会費	856,000	1,100,000		5,500円×200名
③学生会員会費	1,086,000	1,375,000		5,500円×250名
④維持会員会費	350,000	1,000,000		50,000円×20口
2. 入会金	270,000	300,000	△30,000	1,000円×300名
3. 事業収入 (①～③の合計)	5,992,498	5,000,000	992,498	
①論文別刷代	3,373,000	4,000,000		論文誌, 英文誌
②論文誌等販売	719,820	1,000,000		委託販売を含む
③研究報告集販売	1,899,678	0		研究報告予約販売等
4. 雑収入	589,660	300,000	289,660	セミナー参加費, 利息等※2
5. 選書出版(積立金取り崩し)	5,000,000	5,000,000	0	
6. 前年度からの繰越	1,516,502	1,516,502	0	
収 入 合 計	26,293,160	33,591,502	△7,298,342	

※1 2009年度納入の2010年度会費(8,012,000円)
2010年度納入の2011年度会費(1,439,719円)

※2 25周年懇親会参加費260,500円を含む

2. 支出の部

科 目	決算額	予算額	差 額	備考 (2010年)
1. 管理費 (①～⑧の合計)	12,099,568	12,900,000	△800,432	
①役員等会議費	66,683	200,000	△133,317	理事会等開催費
②事務局費(分散)	924,000	1,000,000	△76,000	m事務局経費等
③旅費交通費	2,939,830	3,000,000	△60,170	理事会, 委員会交通費等
④通信運搬費	3,497,851	4,000,000	△502,149	発送費, 連絡費等
⑤消耗品費	749,854	900,000	△150,146	文房具, 封筒印刷等
⑥複写経費	175,825	200,000	△24,175	事務局コピー等
⑦人件費・諸謝金	3,114,710	3,200,000	△85,290	学会事務処理等
⑧雑費	630,815	400,000	230,815	クレジット手数料, その他
2. 事業費 (①～⑨の合計)	16,560,034	19,400,000	△2,839,966	
①機関誌等	13,087,966	10,500,000	2,587,966	
a. 論文誌	9,620,148	9,500,000	120,148	論文誌5回/英文誌1回
b. ニュースレター	1,075,133	1,000,000	75,133	年7回
c. 研究報告集	2,392,685	0	2,392,685	
②ホームページ管理費	408,713	500,000	△91,287	更新作業等
③企画委員会	309,337	300,000	9,337	合宿研究会等
④研究会委員会	337,610	300,000	37,610	研究会開催年5回
⑤セミナー開催	177,660	300,000	△122,340	FDセミナー等
⑥国際連携の促進	230,468	500,000	△269,532	海外の学協会との連携
⑦情報化対応システム開発	854,071	1,000,000	△145,929	業務支援システム開発等
⑧25周年記念事業	1,094,329	1,000,000	94,329	記念シンポジウム, 表彰等
⑨「教育工学選書」出版	59,880	5,000,000	△4,940,120	
3. 予備費	0	1,291,502	△1,291,502	
支 出 合 計	28,659,602	33,591,502	△4,931,900	
※収入支出差額	△2,366,442			

	これまでの累積額	2010年度収入	2010年支出	収 支 差 額	年度繰り越し額
一般会計		26,293,160	28,659,602	△2,366,442	△2,366,442
第26回全国大会	1,266,800	11,249,388	9,924,302	1,325,086	2,591,886
事典	256,300	594,300	413,950	180,350	436,650
合計		38,136,848	38,997,854		662,094

統合後の次年度繰越額

662,094

※参考：積立金

2010/03/31 定期預金 総額	51,961,059	(含ゆうちょ銀行分 9,500,000円)
銀行定期預金利息 合計	49,523	(→銀行定期預金口座へ組み込み)
ゆうちょ銀行定期利息 合計	11,401	(→雑収入へ組み込み)
2011/03/31 定期預金 総額	52,010,582	(含ゆうちょ銀行分 9,500,000円)

第2号議案 2011年度事業計画案および収支予算案

2011年度に実施する事業計画は次のとおりである。(事業総額30,070,000円(次ページ予算案の表中「支出の部」:2.事業費,3.教育工学選書出版,4.全国大会運営経費の総額))

(1) 機関誌等 (13,100,000円)

1. 「日本教育工学会論文誌」第35巻1号～4号,増刊号(ショートレター号),および英文誌第34巻1・2号(合併号)を編集・刊行し,会員に配付する。(9,600,000円)
2. 「ニューズレター」No.178～No.182を刊行し,会員に配付する。(1,100,000円)
3. 「日本教育工学会研究報告集」JSET11-2～JSET11-5, JSET12-1を刊行し,申込者に配布する。(2,400,000円)

(2) 総会

日本教育工学会第27回通常総会を,東京工業大学で開催(2011/06/18)する。

(3) 大会 (9,500,000円)

日本教育工学会第27回全国大会を,首都大学東京で開催(2011/09/17-19)する。
また,「大会講演論文集」を刊行し,申込者に配布する。

(4) 研究会委員会 (400,000円)

研究会を年5回開催し,「日本教育工学会研究報告集」を刊行する。

- ① 「ICTを使ったインフォーマルラーニング支援」研究会 (2011/05/14:金沢大学)
- ② 「教える人の実践知・経験知」研究会 (2011/07/02:岐阜大学)
- ③ 「変動社会における教員養成と教師教育」研究会 (2011/10/29:島根大学)
- ④ 「地域連携と教育・学習環境」研究会 (2011/12/17:香川大学)
- ⑤ 「情報モラル教育の実践」研究会 (2012/03/03:山口大学)

(5) 企画委員会 (500,000円)

企画委員会を開催し,次のシンポジウムおよび研修講座(合宿研究会)を開催する。

a) シンポジウム (2011/06/18:東京工業大学)

「21世紀型スキルと教育工学」

b) 研修講座

- ① 第67回研修講座 夏の合宿研究会 (2011/08/06-07:高知大学)
- ② 第68回研修講座 産学協同セミナー (2012/02頃:山形大学)
- ③ 第69回研修講座 冬の合宿研究会 (2012/03頃:会場未定)

(6) 学会ホームページの更新 (420,000円)

会員だけでなく一般の人に学会情報を提供するために,学会のホームページを常時更新する。

(7) セミナーの開催 (200,000円)

FDセミナー等の企画,開催を行う。

(8) 国際連携の促進 (250,000円)

海外の学協会との連携を促進する。

(9) 学会の情報化対応システム開発 (700,000円)

学会の業務支援システムなどの開発をおこない,会員へのサービス向上を図る。

(10) 「教育工学選書」の出版 (5,000,000円)

「教育工学選書」を出版し,会員へのサービス向上と教育工学分野への人材流入を図る。

2011年度 収支予算案 (自2011.04.01～至2012.03.31)

1. 収入の部

科 目	前年度決算	予 算 額	備 考
1. 会費 (①～④の合計)	12,924,500	22,025,000	
①正会員会費	10,632,500	18,000,000	9,000円×2000名
②准会員会費	856,000	1,650,000	5,500円×300名
③学生会員会費	1,086,000	1,375,000	5,500円×250名
④維持会員会費	350,000	1,000,000	50,000円×20口
2. 入金金	270,000	300,000	1,000円×300名
3. 事業収入 (①～④の合計)	6,172,848	6,950,000	
①論文別刷代	3,373,000	3,800,000	論文誌, 英文誌
②論文誌等販売	719,820	1,000,000	委託販売を含む
③研究報告集販売	1,899,678	2,000,000	
④事典等販売	180,350	150,000	学会収入分
4. 雑収入	589,660	400,000	セミナー参加費, 利息等
5. 選書出版(積立金取り崩し)	5,000,000	3,000,000	
6. 前年度からの繰越し	1,516,502	662,094	
7. 全国大会参加費等	11,249,388	10,000,000	
収 入 合 計	37,722,898	43,337,094	

2. 支出の部

科 目	前年度決算	予 算 額	備 考
1. 管理費 (①～⑧の合計)	12,611,788	12,780,000	
①役員等会議費	66,683	100,000	理事会等会議・会場費
②旅費交通費	3,452,050	3,600,000	理事会, 委員会交通費等
a. 理事会等	2,671,580	2,850,000	理事会交通費等
b. 各委員会	780,470	750,000	委員会交通費等
③通信運搬費	2,767,051	2,800,000	発送費, 連絡費等
④消耗品費	749,854	700,000	文房具, 封筒印刷等
⑤複写経費	175,825	200,000	事務局コピー等
⑥人件費・諸謝金	4,038,710	4,000,000	学会事務処理等(m事務局と統合)
⑦雑費	630,815	600,000	クレジット手数料, その他
⑧レンタル費	730,800	780,000	サーバー代・スペース借用料
2. 事業費 (①～⑦の合計)	16,500,154	15,570,000	
①機関誌等	13,087,966	13,100,000	
a. 論文誌	9,620,148	9,600,000	論文誌5回/英文誌1回
b. ニュースレター	1,075,133	1,100,000	年7回
c. 研究報告集	2,392,685	2,400,000	研究報告集印刷・配布
②ホームページ管理費	408,713	420,000	更新作業等
③企画委員会	309,337	500,000	合宿研究会等
④研究会委員会	337,610	400,000	研究会開催年5回
⑤セミナー開催	177,660	200,000	FDセミナー等
⑥国際連携の促進	230,468	250,000	海外の学協会との連携
⑦情報化対応システム開発	854,071	700,000	業務支援システム開発等
※25周年記念事業	1,094,329		記念シンポジウム, 表彰等
3. 教育工学選書出版	59,880	5,000,000	8冊出版予定(学会負担分)
4. 全国大会運営経費	9,412,082	9,500,000	
5. 予備費		487,094	
支 出 合 計	38,583,904	43,337,094	

第3号議案 会長, 理事, 監事, 評議員の選任

正会員と名誉会員あてに, 役員半数改選の選挙を公示し, 2/21に投票を締め切り, 2/27に開票した。その後, 一身上の都合により, 理事候補の辞退者が1名あり, 次点者1名を繰り上げた。

その結果, つぎのように役員候補者が確定したので, 提案する。

任期は定款第24条により, 会長は2年(2013年度総会まで), 理事, 監事, 評議員は4年(2015年度総会まで)とする。

評議員については, 選挙による選出5名のほか, 定款第21条にもとづき, 会長指名の評議員を加えた。ただし, *印は前任者の残任期間となるため任期は2年(2013年度総会まで)。

会 長 (1名)

1. 永野和男

理 事 (12名) (五十音順)

1. 赤倉貴子 2. 大久保昇 3. 大谷 尚 4. 小柳和喜雄 5. 加藤 浩 6. 久保田賢一
7. 鈴木克明 8. 中原 淳 9. 中山 実 10. 東原義訓 11. 美馬のゆり 12. 室田真男

監 事 (1名)

1. 近藤 勲

評議員 (17名) (五十音順)

1. 稲垣 忠 2. 今井壘湖* 3. 柏原昭博* 4. 木原俊行 5. 黒上晴夫 6. 向後千春
7. 三宮真智子 8. 高橋 純 9. 永田智子* 10. 西森年寿* 11. 野中陽一 12. 平嶋 宗
13. 堀田龍也 14. 宮田 仁* 15. 村上正行* 16. 森田裕介* 17. 柳沢昌義

[参考]

留任理事 (12名) (五十音順, 2013年度総会まで)

1. 赤堀侃司 2. 植野真臣 3. 清水康敬 4. 永岡慶三 5. 南部昌敏 6. 野嶋栄一郎
7. 前迫孝憲 8. 村川雅弘 9. 矢野米雄 10. 山内祐平 11. 山西潤一 12. 吉崎静夫

留任監事 (1名) (2013年度総会まで)

1. 生田孝至

留任評議員 (3名) (五十音順, 2013年度総会まで)

1. 伊藤紘二 2. 岡本敏雄 3. 園屋高志

第4号議案 名誉会員推薦

教育工学の発展に特に顕著な功労があった会員として、以下の4名を名誉会員として推薦する。

坂元 昂氏 水越敏行氏 清水康敬氏 西之園晴夫氏

2011年度 夏の合宿研究会のご案内 (第二報)

■テーマ：若手教師の力量形成を支援する授業研究のデザイン

近年、大都市圏を中心にベテラン教師の大量退職時代を迎えています。それに伴い、今後採用が見込まれている若手教師の力量形成を支援する必要性がますます高まっています。こうした状況をふまえ、本研究会では、これまでわが国において取り組みが蓄積されてきた授業研究の営みを、若手教師の力量形成という視点から、改めてその意義や課題を明らかにしたいと思えます。当日は、授業研究や教師教育に関心を抱く研究者はもちろん、若手教師の力量形成を支援する立場にあるミドル・リーダー、指導主事等の教育委員会スタッフ、そして若手教師の方々にもご参加頂き、それぞれの立場から、授業研究への関わり、さらなる充実を実現する具体的な方策について意見を交換し、そのあり方を追究していく会にしたいと思います。

■日時：2011年08月06日(土)13:30～07日(日)12:00

■会場：高知大学朝倉キャンパス (高知市曙町2丁目5-1 <http://www.kochi-u.ac.jp/JA/m/acc.html>)

・電車でお越しの場合、JR土讃線朝倉駅から徒歩3分もしくは土佐電鉄(路面電車)朝倉下車すぐ

(JR高知駅から朝倉駅まで約11分、土佐電鉄高知駅前駅からはりまや橋乗り換え朝倉駅まで約40分)

・飛行機でお越しの場合、高知龍馬空港から空港バス(高知駅前観光)で約50分(朝倉下車すぐ)

■対象：学校教育に関わる実践者(小・中・高等学校、特別支援学校の現職教員等)、研究者、その他

■参加費：1,000円(予定)当日の資料代を含みます(なお、情報交換会の参加費は別途徴収させていただきます)。

■宿泊：宿泊場所につきましては、高知市内のホテル等を各自でご手配お願いいたします。

■プログラムの概要

木原俊行氏(大阪教育大学)から、若手教師等の成長を促す授業研究の方法論やその事例に関する基調講演を頂きます。それに引き続いて、本研究会のテーマに関連する授業研究の取り組みを行なっているいくつかの学校等から実践報告を頂きます。これらをもとにして、若手教師の力量形成を促す授業研究の企画・運営について、ワークショップ等を通じて、参加者間で議論を深めたいと思えます。2日目には、ワークショップ等で交わされた議論を全体で共有し、今後求められる授業研究のデザインについて総括します。なお、1日目には、情報交換会を予定しております。

■開催担当・問い合わせ先：

島田希(高知大学教育学部附属教育実践総合センター) [mail:nshimada@kochi-u.ac.jp](mailto:nshimada@kochi-u.ac.jp)

*詳細及び参加申し込みは、6月以降に日本教育工学会Webサイトにてご確認ください。

◎学会日誌

- ・2011年06月18日(土)
第27回通常総会及びシンポジウム
「21世紀型スキルと教育工学」(東京工業大学)
- ・2011年07月02日(土)
研究会「教える人の実践知・経験知」(岐阜大学)
- ・2011年08月06日(土)～07日(日)
夏の合宿研究会「若手教師の力量形成を支援する授業
研究のデザイン」(高知大学)
- ・2011年09月17日(土)～19日(月)
第27回全国大会(首都大学東京 南大沢キャンパス)
- ・2011年10月29日(土)
研究会「変動社会における教員養成と教師教育」
(島根大学)
- ・2011年12月17日(土)
研究会「地域連携と教育・学習環境」(香川大学)
- ・2012年03月03日(土)
研究会「情報モラル教育の実践」(山口大学)

◎国際会議の案内

2011年

ED-MEDIA 2011

<http://www.aace.org/conf/edmedia/>
(06/27-07/01 Lisbon, Portugal)

CSCL 2011

<http://www.isls.org/cscl2011/home.htm>
(07/04-11, Hong Kong, China)

CATE 2011

<http://www.iasted.org/conferences/home-734.html>
(07/11-13, Cambridge, United Kingdom)

E-Learn 2011

<http://www.aace.org/conf/eLearn/>
(10/17-21, Honolulu, Hawaii)

MLearn 2011

<http://www.mlearn2011.org/>
(10/19-21, Tokyo, Japan)

WALS 2011

<http://www.wals2011.com/>
(11/26-28, Tokyo, Japan)

ICCE 2011

<http://www.nectec.or.th/icce2011/>
(11/28-12/02, Chiang Mai, Thailand)

お問い合わせ先 E-mail

- 論文投稿に関するお問い合わせ
編集委員会 editor@jset.gr.jp
- 研究会の開催についてのお問い合わせ
研究会事務局 study-group-core@jset.gr.jp
- 全国大会の開催についてのお問い合わせ
大会企画委員会 taikai2011@jset.gr.jp
- 合宿研究会やシンポジウムの開催についてのお問い合わせ
企画委員会 kikaku@jset.gr.jp
- ニュースレター編集に関するお問い合わせ
広報委員会 kouhou@jset.gr.jp
- その他のお問い合わせ
学会事務局 office@jset.gr.jp

広報委員会

編集長：清水康敬(東京工業大学)
担当副会長：永岡慶三(早稲田大学)
広報委員長：赤倉貴子(東京理科大学)
幹事：伊藤剛和(奈良教育大学)
委員：永田智子(兵庫教育大学)、皆川武(目白大学)、
宮田仁(滋賀大学)
E-mail：kouhou@jset.gr.jp

発行所●

日本教育工学会事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田1-13-7マルキビル
TEL&FAX 03-5740-9505
E-mail：office@jset.gr.jp
<http://www.jset.gr.jp>
郵便振替00180-2-539055

日本教育工学会ニュースレター
No. 179
2011年5月29日

発行人●会長 永野和男(聖心女子大学)